

# (仮称)かすかべひがし交流センター整備工事

春日部市

(図面サイズ：A1版、A3版は50%縮小)  
※この図面は、A3版印刷を標準とする。





6 改質アスファルトシート防水
7 合成高分子系ルーフィングシート防水
8 塗膜防水
9 遮熱防水

9 シーリング
10 とい
11 アルミニウム製止水
12 防水工事施工票
4 1 施工数量調査
4-1 コンクリート打放し仕上げ外壁

2 欠損部改修工法
4-2 モルタル塗り仕上げ外壁
3 欠損部改修工法
4 浮き部改修工法
4-3 1 既存タイル張りの撤去
2 タイルの形状、寸法等
3 ひび割れ部改修工法
4 欠損部改修工法

5 タイル張替え工法
6 浮き部改修工法
7 目地改修工法
8 塗り仕上げ外壁等
9 マスチック塗材塗り
4-5 外壁用塗膜防水材塗り

<p>① 改修工法 [5.1.3]</p> <p>② 防火戸 [5.1.4]</p> <p>③ 見本の製作等 [5.1.5]</p> <p>④ 防犯建物部品 [5.1.7]</p> <p>⑤ アルミニウム製建具 [5.2.2~5][表5.2.1, 2]</p> <p>6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]</p>	<p>建具の種類 かつせ工法 撤去工法 適用箇所</p> <p>○アルミニウム製建具 ○撤去工法 ○適用箇所</p> <p>○鋼製建具 ○外部 ○適用箇所</p> <p>○鋼製軽量建具 ○内部 ○適用箇所</p> <p>○ステンレス製建具 ○適用箇所</p> <p>○木製建具 ○適用箇所</p> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>適用箇所 ※建具表による [5.1.4] 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ○行う (※建具表による) ○行わない</p> <p>建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) ○行わない [5.1.5] 建具見本製作の目的等: ( ) 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ○行わない</p> <p>適用箇所 (・建具表による ○旋前、外部建具) [5.1.7]</p> <p>性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1, 2] 耐風圧性の等級 (S-5) (適用する建具 ※建具表による) 気密性の等級 (A-4) (適用する建具 ※建具表による) 水密性の等級 (W-5) (適用する建具 ※建具表による) 外部に面する建具の種別</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td></td> <td>W-4</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-3</td> <td>W-5</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ☑ 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L</p> <p>形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ○BB-1種 ○BB-2種 着色 ○標準色 ○特注色 屋内の建具 種別 ○BC-1種 ○BC-2種 着色 ○標準色 ○特注色 結露水の処理方法 水切り板、ぜん板等 ☑図示</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4		W-4	70	※図示による	・B種	S-5	A-3	W-5	100	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5		※図示による	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm	<p>10 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (※建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ☑ 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>11 木製建具 [5.7.2~4]</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆</p> <p>○フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面材の合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板 ☑</td> <td>表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ・接合の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 ☑</td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○特殊加工化粧合板 ☑</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF ☑</td> <td>接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面材の厚さ ※[表5.7.6]による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する</p> <p>・かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンリキヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ぶすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>枠及びくつずりの材料 ○建具表による</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※[表5.8.1]及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.2]による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.3]による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.4]による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※[表5.8.5]による ・建具表による 掘り玉、レバーハンドル、押板、クレセント等の取付位置 ・建具表による ・図示 錠前類 シリンダ錠錠及びシリンダ本錠まり錠 クローザ類</p> <p>12 建具用金物 [5.8.1~3]</p> <p>13 錠 [5.8.4] マスターキー ○製作する(・新規 ○既存マスター合わせ) ・製作しない [5.8.4] その他の錠 ※各室3本1組(室名札付き) 錠箱 ○有</p> <p>14 自動ドア開閉装置 [5.9.2, 3]</p> <p>戸の開閉方式 ○建具表による</p> <p>○引き戸駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・種類、開閉方式 ( ) ・耐電圧 ( ) ・温度上昇 ( ) ・耐久性(サイクル) ( ) ・防錆 ( ) ・電源 ( )</p> <p>○車椅子使用者用便所出入口引き戸駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧 ( ) ・温度上昇 ( ) ・耐久性(サイクル) ( ) ・防錆 ( ) ・電源 ( )</p> <p>○引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.3による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧 ( ) ・防錆 ( ) ・防滴 ( ) ・電源 ( )</p> <p>引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ○無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便所スイッチの種類 ○大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ○行わない</p> <p>15 自閉式上り引戸装置 [5.10.3]</p> <p>性能 ※[表5.10.1]による</p> <p>16 重量シャッター [5.11.2, 3]</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ○外壁用防火シャッター ○壁内用防火シャッター ○防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 (2,400 ) Pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ○建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ○建具表による) 壁内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ○建具表による)</p>	表面材の合板の種類		規格等	備考	・普通合板 ☑	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ・接合の程度 (・1種 ・2種)			・天然木化粧合板 ☑	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1種 ・2種)			○特殊加工化粧合板 ☑	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 接着の程度 (・1種 ・2種)			・MDF ☑	接着の程度 (・1種 ・2種)			<p>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ○設けない スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ○JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ○JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>17 軽量シャッター [5.12.2~4]</p> <p>開閉形式の種類 ・電動式 (手動併用) ※手動式 耐風圧強度 ( ) Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※AZ90 スラットの形状 ・インターロック型形 ・オーバーラッピング形</p> <p>18 オーバーヘッドドア [5.13.2, 3]</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力による強さの区分(Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラストタイプ</td> <td>・125 ・100 ・75 ・50</td> <td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> </tr> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>19 ガラス [3.7][5.14.2~4]</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。</p> <p>○フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>・型板ガラス 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びシュートバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類</p> <p>○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びシュートバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類</p> <p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種</p> <p>○複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</p> <p>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分 (日射熱遮へい性が2種の場合) ・A種 ・B種</p> <p>・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>・ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ○グレイジングチャンネル ○図示による</p> <p>鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による ○図示による</p>	セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラストタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	<p>⑥ 内装改修工事</p> <p>① 改修範囲 [6.1.3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側60mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示</p> <p>② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) (図示の範囲 ・除去範囲全て) 下地モルタルとも (・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ○機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタルの下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外装改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内</p> <p>③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4.3.10]によるモルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の措置 ※図示) ・図示</p> <p>④ 施工一般 [6.5.2] 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による</p> <p>⑤ 製材 ☑ [6.5.2]</p> <p>・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面ルーバー</td> <td>図示</td> <td>※小節準平</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>( ) 造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>( ) 造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>○「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>家具</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種名</th> <th>芯材の樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>○JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>家具</td> <td>家具</td> <td>家具</td> <td>○する ・しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS 3079に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級	※A種・B種					※2級	※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面ルーバー	図示	※小節準平	※A種・B種			見え掛り面以外		※小節以上	※A種・B種						※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等	※10%以下 A種・B種					※1等	※10%以下 A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用			( ) 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない				( ) 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない		施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	図示	家具	図示	図示	図示	※1等 ・2等							※1等 ・2等		施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用								※1等 ・2等									※1等 ・2等		施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※15%以下						※15%以下		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用							※15%以下								※15%以下		施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用	図示	家具	家具	家具	○する ・しない		施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用				※14%以下	・する ・しない					※14%以下	・する ・しない		施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用								
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・A種	S-4		W-4	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・B種	S-5	A-3	W-5	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・C種	S-6	A-4	W-5		※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																																																																																																									
表面材の合板の種類		規格等	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・普通合板 ☑	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ・接合の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・天然木化粧合板 ☑	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○特殊加工化粧合板 ☑	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・MDF ☑	接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																											
セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラストタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		※2級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		※2級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																							
見え掛り面ルーバー	図示	※小節準平	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
見え掛り面以外		※小節以上	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		※1等	※10%以下 A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		※1等	※10%以下 A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		( ) 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		( ) 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																						
図示	家具	図示	図示	図示	※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																				
							※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																					
							※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																					
						※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																						
						※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																							
図示	家具	家具	家具	○する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		春日部市		縮尺		工事名称		図名		図面番号																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				A1 A3		(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事		特記仕様書(3)		TA-03																																																																																																																																																																																																																																																																																		

⑧ 合板等	<b>⑩「合板の日本農林規格」による普通合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-0以上
					・適用する・適用しない
⑨ 接合具等	<b>⑩「合板の日本農林規格」による構造用合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
	手摺等機器取付下地	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-0以上・※12
					・適用する・適用しない
⑩ 接着剤	<b>⑩「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・特類・1類	・適用する・適用しない
⑪ 内部間仕切組及び床組み	<b>⑩「合板の日本農林規格」による天然化粧合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	化粧合板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
		図示	図示	○類・2類	○適用する・適用しない
⑫ 窓、出入口その他	<b>⑩「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類・2類		・適用する・適用しない
⑬ 軽量鉄骨天井下地	<b>⑩パーティクルボード</b> [6.5.2]				
	施工箇所	表面面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐火性による区分	難燃性による区分
	乾式二重床	RS	※13タイプ	※P又はM	※15
					○20
⑭ 軽量鉄骨天井下地	<b>⑩MDF</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	表面面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分
	ライニング	図示	RS		F☆☆☆☆

⑮ 軽量鉄骨壁下地	<b>⑩「合板の日本農林規格」による普通合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-0以上
					・適用する・適用しない
⑯ ビニル床シート	<b>⑩「合板の日本農林規格」による構造用合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
	手摺等機器取付下地	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-0以上・※12
					・適用する・適用しない
⑰ ビニル床タイル	<b>⑩「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・特類・1類	・適用する・適用しない
⑱ 特殊機能床材	<b>⑩「合板の日本農林規格」による天然化粧合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	化粧合板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
		図示	図示	○類・2類	○適用する・適用しない
⑳ ビニル幅木	<b>⑩「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類・2類		・適用する・適用しない
㉑ ゴム床タイル	<b>⑩パーティクルボード</b> [6.5.2]				
	施工箇所	表面面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐火性による区分	難燃性による区分
	乾式二重床	RS	※13タイプ	※P又はM	※15
					○20
㉒ カーベツト敷き	<b>⑩MDF</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	表面面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分
	ライニング	図示	RS		F☆☆☆☆
㉓ フローリング張り	<b>⑩「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類・2類		・適用する・適用しない

㉔ 畳敷き	<b>⑩「合板の日本農林規格」による普通合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-0以上
					・適用する・適用しない
㉕ せっこうボード	<b>⑩「合板の日本農林規格」による構造用合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
	手摺等機器取付下地	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-0以上・※12
					・適用する・適用しない
㉖ 壁紙張り	<b>⑩「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・特類・1類	・適用する・適用しない

㉗ モルタル塗り	<b>⑩「合板の日本農林規格」による普通合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-0以上
					・適用する・適用しない
㉘ タイル張り	<b>⑩「合板の日本農林規格」による構造用合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質
	手摺等機器取付下地	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-0以上・※12
					・適用する・適用しない
㉙ セルフレベリング材	<b>⑩「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・特類・1類	・適用する・適用しない
㉚ フリーアクセスフロア	<b>⑩「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類・2類		・適用する・適用しない
㉛ 移動間仕切	<b>⑩パーティクルボード</b> [6.5.2]				
	施工箇所	表面面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐火性による区分	難燃性による区分
	乾式二重床	RS	※13タイプ	※P又はM	※15
					○20
㉜ トイレブース	<b>⑩MDF</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	表面面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分
	ライニング	図示	RS		F☆☆☆☆
㉝ 手すり	<b>⑩「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</b> [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類・2類		・適用する・適用しない



<p>⑩ 鉄筋工事</p> <p>② 溶接金網</p> <p>③ 鉄筋の継手</p> <p>4 鉄筋の定着</p> <p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)</p> <p>6 各部配筋</p> <p>7 ガス圧接</p> <p>8 機械式継手</p> <p>9 溶接継手</p>	<p>鉄筋の種類 (5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>SD295</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>形状等 (5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>溶接金網</td> <td></td> <td>丸鉄線100×100φ6</td> <td>押えコンクリート</td> </tr> <tr> <td>鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋の継手方法等 (5.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>ガス圧接・機械式継手</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>重ね継手・ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1)</li> <li>・ 基礎梁主筋の継手位置 図5.2・図5.3・図5.4</li> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>柱及び梁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ウ))</li> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>鉄筋の定着長さ (5.3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>機械式定着工法</p> <p>運用場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 摩擦圧接接合 ・ 総合グラウト固定</li> <li>・ 嵌合グラウト固定</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※第三者機関の評定等を取得している工法とする</li> </ul> <p>必要定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※評定等の評価内容による</li> </ul> <p>補強筋形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※評定等の評価内容による</li> </ul> <p>かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※評定等の評価内容による</li> </ul> <p>品質確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※評定等の評価内容による</li> </ul> <p>検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※評定等の評価内容による</li> </ul> <p>鉄筋の余長の長さ</p> <p>構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。</p> <p>最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1)</li> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり 適用箇所( )</li> </ul> <p>主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する</p> <p>耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり 適用箇所( )</li> <li>・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm</li> </ul> <p>※図示による (5.3.7)</p> <p>圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)</p> <p>外観試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※行う(全ての圧接部)</li> </ul> <p>抜取試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(イ)(a)による)</li> <li>・ 引張試験</li> <li>・ 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(イ)(b)による</li> </ul> <p>適用箇所 (5.5.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>H12建告第1463号に適合する性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A級</li> </ul> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ねじ式鉄筋継手</li> <li>・ 充填方式</li> <li>・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式</li> <li>・ 鋳部ねじ加工継手</li> <li>・ モルタル充填式継手</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※第三者機関の評定等を取得している工法</li> </ul> <p>鉄筋相互のあき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※評定等の評価内容による</li> </ul> <p>品質の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※評定等の評価内容による</li> </ul> <p>検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※評定等の評価内容による</li> </ul> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外観試験</li> <li>・ 試験対象 ※全数</li> <li>・ 試験項目</li> <li>・ 評定等の評価内容による</li> <li>・ 試験方法</li> <li>・ 評定等の評価内容による</li> <li>・ 超音波測定試験</li> <li>・ 試験対象</li> <li>・ 抜取り</li> <li>・ ロット</li> <li>・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする</li> <li>・ 試験の箇所数</li> <li>・ 1ロットに対して( )箇所</li> <li>・ 全数</li> <li>・ 試験項目 ※挿入長さ</li> <li>・ 試験方法</li> <li>・ ※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による</li> <li>・ 判定基準による</li> <li>・ 不合格となった場合の措置</li> </ul> <p>適用箇所 (5.5.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>H12建告第1463号に適合する性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A級</li> </ul> <p>溶接継手の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>鉄筋相互のあき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準仕様書5.3.5(4)による</li> <li>・ 評定等の評価内容による</li> <li>・ 図示による( )</li> </ul>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	SD295	※D16以下		SD345	※D19以上		種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	溶接金網		丸鉄線100×100φ6	押えコンクリート	鉄筋格子				部位	継手方法	呼び径(mm)	柱、梁の主筋	ガス圧接・機械式継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	重ね継手		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	重ね継手・ガス圧接		その他の鉄筋	重ね継手		<p>① コンクリート工事</p> <p>② セメント</p> <p>③ 骨材</p> <p>4 混和材料</p> <p>5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地</p> <p>6 湿潤養生</p> <p>⑦ コンクリートの仕上り</p> <p>8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)</p> <p>⑨ 型枠</p> <p>10 軽量コンクリート</p>	<p>施工完了後の溶接部の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外観試験</li> <li>・ 試験対象 ※全数</li> <li>・ 試験項目</li> <li>・ 評定等の評価内容による</li> <li>・ 試験方法</li> <li>・ 評定等の評価内容による</li> <li>・ 超音波測定試験</li> <li>・ 試験対象</li> <li>・ 抜取り</li> <li>・ ロット</li> <li>・ 1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする</li> <li>・ 試験の箇所数</li> <li>・ 1ロットに対して( )箇所</li> <li>・ 全数</li> <li>・ 試験項目 ※内部欠陥の検出</li> <li>・ 試験方法</li> <li>・ ※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による</li> <li>・ 判定基準による</li> <li>・ 不合格となった場合の措置</li> </ul> <p>種類 (6.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート)</li> <li>・ Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート)</li> </ul> <p>普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>24</td> <td>2.3程度</td> <td>15又は18</td> <td>設備基礎</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值(S) (6.3.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※標準仕様書表6.3.2による</li> <li>・ 補正值S=3(月日~月日、月日~月日)</li> <li>・ S=6(月日~月日、月日~月日)</li> </ul> <p>種類 (6.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</li> <li>・ 適用箇所(※記以外全て)</li> <li>・ 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。</li> <li>・ 高炉セメントB種</li> <li>・ 適用箇所(1FLより下部(立上り部含む))</li> <li>・ フライアッシュセメントB種</li> <li>・ 適用箇所( )</li> </ul> <p>アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m<sup>3</sup>以下)</li> </ul> <p>混和剤の種類 (6.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 混和剤の種類</li> <li>・ ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による</li> <li>・ 混和材</li> <li>・ 混和材の種類</li> <li>・ ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による</li> </ul> <p>打継ぎの位置、梁及びスラブ (6.6.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※スパンの中央又は端から1/4の付近</li> <li>・ 図示による( )</li> <li>・ 柱及び壁</li> <li>・ ※スラブ、壁梁又は基礎の上端</li> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準仕様書9.7.3(1)(7)による</li> <li>・ ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、全体外側の打増し部で処理する</li> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>湿潤養生の期間 (6.7.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( )日</li> </ul> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> </table> <p>打増し厚さ (6.8.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)</li> <li>・ 20mm</li> <li>・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)</li> <li>・ 10mm</li> <li>・ 20mm</li> <li>・ 外装タイル後張り面の打増し処理</li> <li>・ 20mm</li> </ul> <p>打増し範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>せき板の材料及び厚さ (6.8.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合板(※12mm) 図</li> <li>・ コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。</li> <li>・ 断熱材を兼用した型枠の使用</li> <li>・ 適用箇所 図示による( )</li> <li>・ MC R工法用シートの使用</li> <li>・ 適用箇所 図示による( )</li> <li>・ 打増し厚さ</li> <li>・ 打増し範囲 図示による( )</li> <li>・ スリーブの材種・規格等</li> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>存置期間及び取外し (6.8.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※標準仕様書6.8.4による</li> <li>・ 普通エコセメントの場合(※図示による( ) )</li> </ul> <p>適用箇所 (6.10.1、2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1種</li> <li>・ 2種</li> </ul> <p>気乾単位容積質量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準仕様書表6.10.1による</li> </ul> <p>スランブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※21cm</li> </ul>	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	スランブ	適用箇所	24	2.3程度	15又は18	設備基礎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	種別	適用箇所	A種	※図示による( )	B種	※図示による( )	C種	※図示による( )	種別	適用箇所	a種	※図示による( )	b種	※図示による( )	c種	※図示による( )	<p>11 寒中コンクリート (6.11.1、2)</p> <p>適用期間(月日~月日)</p> <p>構造体強度補正值(S)を構算温度を基に定める場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )、S=( )</li> </ul> <p>12 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <p>適用期間(月日~月日)</p> <p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※6N/mm<sup>2</sup> 図示による( )、S=( )</li> </ul> <p>13 マスコンクリート (6.13.1、2)</p> <p>適用箇所 (6.13.1、2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による( )</li> <li>・ セメントの種類</li> <li>・ 普通ポルトランドセメント</li> <li>・ 中熱ポルトランドセメント</li> <li>・ 低熱ポルトランドセメント</li> <li>・ 高炉セメントB種</li> <li>・ フライアッシュセメントB種</li> <li>・ シリカセメント</li> <li>・ 混和材の適用</li> <li>・ あり(標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(イ)による)</li> </ul> <p>スランブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※15cm</li> </ul> <p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※標準仕様書表6.13.1による</li> </ul> <p>⑭ 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※普通コンクリート</li> <li>・ セメントの種類</li> <li>・ ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</li> <li>・ 高炉セメントB種</li> <li>・ フライアッシュセメントB種</li> <li>・ 設計基準強度 ※18(N/mm<sup>2</sup>)</li> <li>・ スランブ ※15cm又は18cm</li> <li>・ 適用箇所</li> <li>・ ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所</li> <li>・ 図示による( )</li> </ul> <p>15 コンクリートの単位水量測定</p> <p>実施要領</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>単位水量の測定は、150m<sup>3</sup>に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。</li> <li>単位水量の上限值は、標準仕様書6.3.2(イ)(c)による。</li> <li>単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。</li> </ol> <p>1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合はそのまま施工する。</p> <p>2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>3) 設計値±20kg/m<sup>3</sup>を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。</p> <p>5) 単位水量管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。</p> <p>6) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。</p>	<p>縮尺</p> <p>工事名称</p> <p>図名</p> <p>図番番号</p>
	種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																														
	SD295	※D16以下																																																																															
	SD345	※D19以上																																																																															
	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																													
	溶接金網		丸鉄線100×100φ6	押えコンクリート																																																																													
	鉄筋格子																																																																																
	部位	継手方法	呼び径(mm)																																																																														
	柱、梁の主筋	ガス圧接・機械式継手	※D19以上																																																																														
	耐力壁の鉄筋	重ね継手																																																																															
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	重ね継手・ガス圧接																																																																																
その他の鉄筋	重ね継手																																																																																
設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	スランブ	適用箇所																																																																														
24	2.3程度	15又は18	設備基礎																																																																														
-	-	-	-																																																																														
-	-	-	-																																																																														
-	-	-	-																																																																														
-	-	-	-																																																																														
種別	適用箇所																																																																																
A種	※図示による( )																																																																																
B種	※図示による( )																																																																																
C種	※図示による( )																																																																																
種別	適用箇所																																																																																
a種	※図示による( )																																																																																
b種	※図示による( )																																																																																
c種	※図示による( )																																																																																
	春日部市	A1 A3	(仮称)かすかべひがし交流センター整備工事	特記仕様書(6)	TA-06																																																																												

<p>8 耐震改修工事</p> <p>1 適用範囲</p> <p>2 既存部分の処理等</p> <p>3 撤去工事の施工内容</p> <p>4 撤去工事における注意事項</p>	<p>・改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事</p> <p>・改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分</p> <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</li> <li>鉄骨ブレースの設置工事</li> <li>柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)</li> <li>柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き工法)</li> <li>柱補強工事(連続繊維補強工法)</li> <li>耐震スリット新設工事</li> <li>免震改修工事</li> <li>制振改修工事</li> <li>土工事及び地業工事</li> </ul> <p>既存構造体の撤去</p> <p>撤去範囲</p> <p>図示による( )</p> <p>はつり出した鉄筋及び鉄骨の処理</p> <p>図示による( )</p> <p>[8.21.3][8.22.3][8.23.3][8.26.6][8.27.3]</p> <p>既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存柱、梁面 ・打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ2～5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</li> <li>既存壁 ・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ2～5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</li> </ul> <p>※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。</p> <p>※増設部材と接する既存コンクリート面は充分に目荒らしを行う。</p> <p>※塗り仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。</p> <p>※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p> <p>※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構内内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。</p> <p>※増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気ピックを用いる等)</p> <p>※コンクリート打設前に粉塵、はつりが等を清掃し、数日から充分に水湿めを行う。</p> <p>※既存の躯体状態の確認及び補修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理最終処分場処分すること。</li> <li>石綿スレート、フレキシブルボード等石棉製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないようにはずしで行い、原形のまま運搬処分すること。</li> <li>以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずで行うこと。</li> <li>床：ビニール系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように湿潤後、手はずで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。</li> </ul>	<p>2 セメント</p> <p>種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <p>適用箇所 (※記号以外全て)</p> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ28日目で402 J/g以下のものとする</p> <p>・高炉セメントB種 [G]</p> <p>適用箇所 (・1より下部 (立ち上がり部含む))</p> <p>・フライアッシュセメントB種 [G]</p> <p>適用箇所 ( )</p> <p>3 骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <p>※A・B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m<sup>3</sup>以下)</p> <p>4 混和材料</p> <p>・混和剤 種類 ※[8.2.5](4)(a)による</p> <p>・混和材 種類 ※[8.2.5](4)(b)による</p> <p>5 構造体用モルタル</p> <p>圧縮強度 ( )、フロー値 ( )</p> <p>6 ひび割れ誘発目地、打継目地</p> <p>目地寸法 (6.6)(4)(6.8.1)(9.7.3)</p> <p>・標準仕様書9.7.3(1)(7)～(9)による</p> <p>※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打継目部で処理する</p> <p>・図示による( )</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置</p> <p>・図示による( )</p> <p>7 構造体コンクリートの仕上り</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ [8.1.4][8.2.7]</p> <p>種類別 適用箇所</p> <p>・A種 ※図示による( )</p> <p>・B種 ※図示による( )</p> <p>・C種 ※図示による( )</p> <p>コンクリートの仕上りの平坦さ</p> <p>種類別 適用箇所</p> <p>・a種 ※図示による( )</p> <p>・b種 ※図示による( )</p> <p>・c種 ※図示による( )</p> <p>8 打増し厚さ (打直し仕上げ部)</p> <p>打増し厚さ [8.7.8]</p> <p>・打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)</p> <p>・20mm</p> <p>・打直し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)</p> <p>10mm、20mm</p> <p>打増し範囲</p> <p>・図示による( )</p> <p>9 型枠</p> <p>せき板の材料及び厚さ (6.8.2)[8.2.7]</p> <p>・合板 (※12mm) [G]</p> <p>コンクリート打設時の充填性の確保のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。</p> <p>・断熱材を兼用した型枠の使用</p> <p>適用箇所 ・図示による( )</p> <p>・MC R工法用シートの使用</p> <p>適用箇所 ・図示による( )</p> <p>打増し厚さ ・20mm</p> <p>打増し範囲 ・図示による( )</p> <p>スリーブの材質・規格等</p> <p>・図示による( )</p> <p>10 型枠の加工及び組立</p> <p>シアコネクタをセパレーターとして使用</p> <p>適用箇所 ・図示による( )</p> <p>11 無筋コンクリート</p> <p>コンクリートの種類 [8.11.1]</p> <p>※普通コンクリート</p> <p>セメントの種類 [8.2.5]</p> <p>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <p>・高炉セメントB種 [G]</p> <p>・フライアッシュセメントB種 [G]</p> <p>適用箇所 6.14(1)(4)による箇所 ・図示による( )</p> <p>※標準仕様書6.14(1)(4)による箇所 ・図示による( )</p> <p>設計基準強度 ※f18 (N/mm<sup>2</sup>) [8.11.1]</p> <p>スランプ ※15cm又は18cm</p> <p>12 コンクリートの打込み工法等</p> <p>コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8][8.23.5]</p> <p>補強工事 工法の種類 適用箇所</p> <p>・現場打ちコンクリート 工法指定なし ・全ての増設壁 ・図示による( )</p> <p>・トート壁の増設工事 ・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての増設壁 ・図示による( )</p> <p>・圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3) ・全ての増設壁 ・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>・柱補強工事 ・工法指定なし ・全ての柱補強部分 (溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法) ・図示による( )</p> <p>・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての柱補強部分 ・図示による( )</p> <p>・圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3) ・全ての柱補強部分 ・図示による( )</p> <p>・図示による( )</p> <p>・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3) ・図示による( )</p>	<p>5 普通ボルト</p> <p>ボルト及びナットの材料 (7.2.3)</p> <p>・標準仕様書表7.2.3(JIS附属書品)又は次による</p> <p>ボルトの規格は JIS B 1180 とする。</p> <p>(ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181 とする。ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。)</p> <p>ボルトのねじの呼び ・図示による( )</p> <p>座金 ※JIS B 1256 による</p> <p>戻り止め ※二重ナット</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p> <p>[8.13.2]</p> <p>6 アンカーボルト</p> <p>・構造用アンカーボルト (JIS B 1220) (7.2.4)(7.10.3)</p> <p>種類 ・ABR400 ・ABR490</p> <p>・建方用アンカーボルト (JIS G 3101)</p> <p>種類 ・SS400</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <p>※標準仕様書表7.2.3による</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p> <p>[8.13.2]</p> <p>7 溶接材料</p> <p>・[8.2.10](1)、(2)による</p> <p>・[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料</p> <p>材料及び使用箇所 ・図示による( )</p> <p>[8.2.10]</p> <p>8 ターンバックル</p> <p>種類</p> <p>建築用ターンバックル</p> <p>※羽子板ボルト</p> <p>建築用ターンバックル調</p> <p>※割付式</p> <p>ねじの呼び</p> <p>・図示による( )</p> <p>(7.2.6)</p> <p>9 スタッド</p> <p>頭付きスタッド (JIS B 1198)の種類等 [8.2.11][8.16.6]</p> <p>呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所</p> <p>・16</p> <p>・19</p> <p>・22</p> <p>スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。</p> <p>10 製作精度</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて、次による。 [8.13.3]</p> <p>適しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法</p> <p>※H12建告第1464号第二号(2)による</p> <p>アンダーカットの寸法</p> <p>※H12建告第1464号第二号(3)による</p> <p>食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法</p> <p>・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p> <p>11 溶接作業者の技量付加試験</p> <p>試験の要領 [8.15.3]</p> <p>・図示による( )</p> <p>12 溶接接合</p> <p>開先の形状 [8.15.4]</p> <p>・図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)</p> <p>鋼製エンドタブの切除する部分</p> <p>切除する場所 ・図示による( )</p> <p>切除範囲</p> <p>・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から5mm以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p> <p>切断面の仕上げ</p> <p>・[8.15.7](1)(a)(b)による</p> <p>スカラップの形状</p> <p>・図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカラップ)</p> <p>13 入熱、バス間温度の管理</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による( )</p> <p>・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p> <p>14 溶接部の試験</p> <p>H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12]</p> <p>・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による抜き取り検査①</p> <p>※抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則1「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する確認方法等</p> <p>・JASS 6/10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験</p> <p>・工場溶接の場合</p> <p>・全数</p> <p>・工事現場溶接の場合</p> <p>※全数</p> <p>15 錆止め塗装</p> <p>塗装の範囲 [8.17.2]</p> <p>耐火被覆材の接着する面</p> <p>・図示による( )</p> <p>耐火被覆材の接着する面以外</p> <p>※[8.17.2](1)(7)～(4)以外の範囲 ・図示による( )</p> <p>[7.4.3][8.17.4]</p> <p>塗料の種類</p> <p>屋外</p> <p>・[表7.4.1] A種</p> <p>屋内</p> <p>・[表7.4.1] ( )種</p> <p>・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料</p> <p>・[表7.4.2] ( )種</p> <p>・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <p>※[表7.4.1] A種</p> <p>・耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料</p> <p>・[表7.4.1] ( )種 ・[表7.4.2] ( )種</p> <p>16 耐火被覆</p> <p>種類、材料、工法等 [8.18.2～8]</p> <p>種類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分)</p> <p>・耐火材吹付け</p> <p>・乾式吹付け吹付</p> <p>・湿式ロックワール</p> <p>・半乾式吹付け吹付</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・耐火板張り</p> <p>・繊維混入けい酸カルシウム板</p> <p>・耐火材巻付け</p> <p>・高断熱ロックワール</p> <p>・ラス張りモルタル塗り</p> <p>・耐火塗料</p> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする</p> <p>※JASS6 付則6「鉄骨精度検査基準」付表5「工事現場」による (7.10.2)</p>	<p>18 アンカーボルト等の設置 (7.10.3)</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <p>・図示による( )</p> <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法</p> <p>・図示による( )</p> <p>建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (表7.10.1)</p> <p>種別 ・A種 ・B種</p> <p>柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (表7.10.2)</p> <p>厚さ</p> <p>種別 ※A種 ・B種</p> <p>19 溶融亜鉛めっき (基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。)</p> <p>種別等 [8.20.4]表8.20.1]</p> <p>亜鉛めっきの種別 材料 適用部位</p> <p>・A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</p> <p>・B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</p> <p>・C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類</p> <p>最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</p> <p>外観検査 ※行う ・行わない</p> <p>(あと施工アンカー) 1 あと施工アンカー</p> <p>仕様等 [8.2.4]</p> <p>・金属系アンカー (耐震補強用)</p> <p>引張耐力 ※図示による( )</p> <p>せん断耐力 ※図示による( )</p> <p>アンカー本体の径及び埋込み長さ</p> <p>・図示による( )</p> <p>セット方式 ※本体打込み式改良型</p> <p>接合部の種類、径、長さ</p> <p>・図示による( )</p> <p>・接着系アンカー</p> <p>引張耐力 ※図示による( )</p> <p>せん断耐力 ※図示による( )</p> <p>アンカーの種類 ※カプセル方式回転式 打撃式 ・カプセル方式打込み型</p> <p>接着剤の品質 ※有機系 ・無機系</p> <p>アンカー筋の径及び埋込み深さ</p> <p>・図示による (「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)</p> <p>アンカー筋の種類 [表8.2.1]の異形棒鋼 ・全ねじボルト</p> <p>アンカー筋の新設壁への定着の長さ</p> <p>・図示による (「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)</p> <p>性能確認試験</p> <p>試験方法及び試験数 ・図示による( )</p> <p>2 あと施工アンカー工事</p> <p>穿孔機械(金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する) [8.12.4.7]</p> <p>※ハンマードリル ・コアドリル</p> <p>穿孔前の埋込み配管等の探査方法</p> <p>・JASS 11.10.0に規定された非破壊検査を行う</p> <p>・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う探査方式</p> <p>・電磁波レーダ法(3D表示対応型) ・電磁波レーダ法又は電磁波誘導法</p> <p>鉄筋探知器の性能</p> <p>・CQ管及び非金属類の探査が可能である機器とする</p> <p>・はつり出しによる</p> <p>施工確認試験</p> <p>試験方法 ※引張試験機による引張試験</p> <p>確認強度 ・図示による( )</p> <p>(グラウト工事) 1 柱底均しモルタル及び均しモルタル</p> <p>・柱底均しモルタル [8.2.12]</p> <p>※無収縮モルタル</p> <p>無収縮モルタルの材料及び調合</p> <p>※[8.2.12](1)(7)から(5)による</p> <p>・グラウト材</p> <p>無収縮グラウト材の材質等</p> <p>混和材</p> <p>セメント</p> <p>砂</p> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法</p> <p>コンシステンシー</p> <p>ブリーディング</p> <p>凝縮開始時間</p> <p>凝縮率</p> <p>圧縮強度</p> <p>塩化物質</p> <p>試験方法</p> <p>1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。</p> <p>2) 塩化物質の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p> <p>(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート巻き</p> <p>連続繊維シート [8.2.13]</p> <p>材料 ・図示による( )</p> <p>工法 ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法</p> <p>引張強度(含浸硬化後)</p> <p>・2500N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>・3000N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>ヤング係数(含浸硬化後)</p> <p>・2.35×10<sup>9</sup> N/mm<sup>2</sup>程度</p> <p>・2.00×10<sup>9</sup> N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>下地調整 [8.24.6]</p> <p>ひび割れ部の改修工法の種類</p> <p>・樹脂注入工法 ・リカットシール材充填工法 ・シール工法</p> <p>柱及び梁の隅角部の取りの大きさ ※工法の評価内容による</p> <p>連続繊維補強材の強度試験</p> <p>引張強度試験</p> <p>※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による</p> <p>試験数量 ・図示による( )</p> <p>付着強度試験</p> <p>※JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による</p> <p>試験数量 ・図示による( )</p> <p>補強後の仕上げ ・図示による( )</p> <p>[8.24.7]</p> <p>(耐震スリット新設工事) 1 施工前埋込み配管等の探査</p> <p>既存撤去部の埋込み配管等の探査方法</p> <p>・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う探査方式</p> <p>・電磁波レーダ法(3D表示対応型) ・電磁波レーダ法又は電磁波誘導法</p> <p>・はつり出しによる</p> <p>2 耐震スリット</p> <p>幅及び深さ ・図示による( )</p> <p>設置箇所 ・図示による( )</p> <p>[8.25.2]</p> <p>3 充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・耐火材 使用箇所及び仕様 ・図示による( )</p> <p>・遮音材 使用箇所及び仕様 ・図示による( )</p> <p>撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修</p> <p>[8.25.2]</p>							
		春日部市		縮尺	A1 A3	工事名称	(仮称)かすかべひがし交流センター整備工事	図名	特記仕様書(7)	図面番号	TA-07



工事区分表

設計図によるほか、次表の○印を工事区分（見積区分）とする。

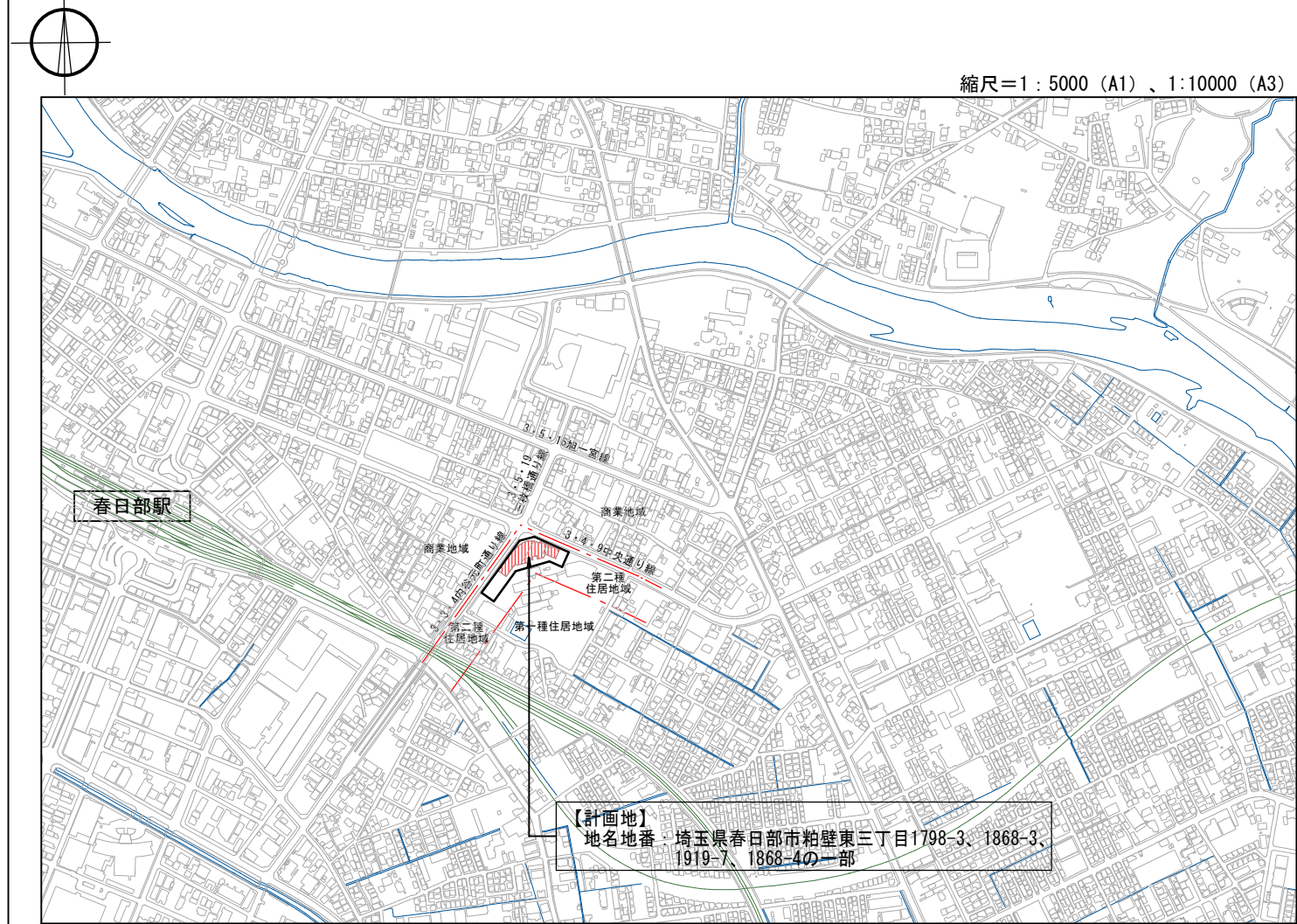
工事項目	建築	昇降機	電気設備	機械設備	別	備考
1. 共通項目						
1 工事用電力・上下水道・電話引込工事	○					仮設電源工事
2 工事用電力・上下水道・電話料金	○					仮設料金
3 工事上の各種申請届出費	○	○	○			
4 本設電力上下水道・ガスの引込工事負担金						なし
5 本設電力・上下水道・ガスの引込後引渡し迄の使用料金	○					工事使用量応分
6 本設電力・上下水道・ガスの引込後引渡し迄の基本料金	○					工事使用量応分
7 本設電話の引込工事負担金						なし
8 CATVの引込工事負担金						なし
9 既存ガス管の撤去・同手続き				○		
10 工事中の近隣電波障害調査・対策工事						なし
11 仮囲い・共通足場・現場事務所	○					仮囲いバリア、監督員事務所不要
12 現場以外の検査・試験に要する費用	○	○	○			
13 工事用車両駐車場の確保	○	○	○			
14 工程管理	○	○	○			工事調整は建築
15 安全管理	○	○	○			統括安全管理は建築
16 製作図・施工図・承認図の作成	○	○	○			関連工事別
17 メーカー・代理店への手配・連絡	○	○	○			関連工事別
12 基準書出し・納まり指示	○					
13 工事用墨出し	○	○	○			関連工事別
14 部材の運搬・現場への搬入	○	○	○			関連工事別
15 搬入路・荷下し場所の確保・指示	○					
16 受け入れ検査・数量確認・荷受け	○	○	○			関連工事別
17 場内運搬・間取り・取付工事	○	○	○			関連工事別
18 作業員詰所・資材置場・便所等の確保	○					
19 残材の処理（場内指定場所まで）	○	○	○			関連工事別
20 残材の処理（場外）	○	○	○			関連工事別
21 養生・クリーニング	○	○	○			関連工事別
22 機器の保証書	○	○	○			関連工事別
23 試運転・各種テスト・調整・検査立会	○	○	○			関連工事別
24 竣工引渡時の取扱説明書	○	○	○			関連工事別
25 竣工図・竣工図書等の作成	○	○	○			調整まどめは建築
26 地盤・家屋・植栽等の損害補償	○	○	○			
27 近隣家屋等の事前調査						なし
28 定礎						新設なし
2. 機械基礎						
1 コンクリート基礎（仕上を含む）	○					
2 上記以外の設備配管支持架台等			○	○		
3 同上アンカーボルト・筋入・埋込み				○	○	
4 設備架台（H鋼）	○					穴明けは設備工事
3. 躯体貫通・補強（防水含む）						
1 地中梁の連通管・通気管・人孔の貫通スリーブ及び躯体補強						なし
2 S造・SRC造の貫通鋼管スリーブ及び補強						なし
3 RC造の梁貫通配管スリーブ						なし
4 同上補強（10mmφを超えるもの）						なし
5 床・壁の配管新規貫通（コア抜き・X線検査共）	○	○	○			
6 同上補強						なし
7 各種貫通穴明け箇所穴の埋め・補修	○	○	○			
4. 躯体以外の開口・補強						
1 工場製作間仕切り壁・開口・取付枠・補強	○					
2 現場製作間仕切り壁・開口・取付枠・補強	○					
3 現場製作間仕切り壁・開口・取付枠・補強	○					
4 天井付各種器具の開口・取付枠	○					原則建築工事
5 同上天井開口の墨出し	○	○	○			
6 ブロック・煉瓦の設備機器取付用・開口・取付枠・補強						なし
7 PCパネル・ALCパネル・射出成形セメント板・開口・取付枠・補強						なし
8 同上開口部の穴埋め・補修						なし
5. 点検口・ガラリ						
1 外壁取付ガラリ	○					加工工法
2 同上接続用アングル・防鳥ネット・防虫ネット						なし
3 内壁取付ガラリ（レタースリットを含む）						なし
4 ドアガラリ・レタースリット	○					
5 各種設備の点検口（天井・壁・床）	○					
6 ウェザーカバー・ベントキャップ				○		
6. 防炎防火設備など						
1 消火栓ボックス（ホース・ノズルとも）				○		現場塗装
2 同上起動用押ボタン・表示灯・発信機・ベル・電話						既存利用
3 消火ポンプ制御盤（起動リレーとも）						既存利用
4 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続						既存利用
5 同上制御盤以降2次側電気配管・配線・接続						既存利用
6 ガス漏れ検知器・受信機						なし
7 同上電気配管・配線・接続						なし
8 消火器ボックス						新規なし
9 救助袋・収納箱（避難器具設備類）						なし

工事項目	建築	昇降機	電気設備	機械設備	別	備考
6. ビット・マンホール・水槽類など						
1 電気室・自家発電機室・機械室・配管ビット・蓋						新設はなし
2 湧水槽・汚水槽・雑排水槽・消火水槽・RC造各種水槽						新設はなし
3 同上用マンホール・格子蓋・タラップなど						新設はなし
4 各種形の液面電極棒・フロートスイッチ類の供給取付				○		
5 同上電気配管・配線・接続				○		
6 同上オーバーフロー・通気管取付付	○		○			
7 オイル配管トレンチの躯体・防水						なし
8 同上用本体・注油口・他付属品一式						なし
9 屋内・屋外マンホールの取付枠・鎖鉄蓋・化粧蓋						新設はなし
10 屋内・屋外トレンチの躯体・排水溝・蓋・仕上げ						新設はなし
11 同上設備配管類の架台			○	○		
7. 浴室・湯沸室・便所等						
1 流し台・吊戸棚・水切り棚	○					
2 同上一次側電気配管配線・給排水接続			○	○		
3 換気フード・ダクト接続（防火ダンパーを含む）及び排気ダクト			○	○		
4 電気湯沸器（配管接続共）				○		
5 同上一次側電気配管・配線・接続			○	○		接続は給排水衛生設備工事
6 ユニットイレ・シャワー・バス						なし
7 同上一次側電気配管・配線・給排水接続・ダクト接続						なし
8 化粧鏡			○			下地は建築工事
9 姿見鏡			○			下地は建築工事
10 大型鏡	○					多目的室・スタジオ 下地共
11 衛生器具			○			下地は建築工事
12 ベビーシート・ベビーキープ			○			下地は建築工事
13 ユニバーサルシート			○			下地は建築工事
14 紙巻器・トイレ・洗面手摺			○			下地は建築工事
15 フック・ペーパーホルダー			○			下地は建築工事
16 手洗・洗面器（排水トラップ含む）			○			下地は建築工事
17 衛生器具廻りの手摺			○			下地は建築工事
8. 調理設備						
1 調理機器類の製作・搬入据付	○					※IHヒーター
2 同上給排水管及び接続				○		
3 同上1次側電気配管・配線・コンセント供給取付				○		
4 換気用フード及び排気用フード・ダクトの接続				○		
5 冷蔵庫、電子レンジ、電気ポット、鍋、食器、包丁等備品類					○	
6 排気用フードのフードライト（耐熱ケーブル含む）						なし
9. 設備関連工事など						
1 中央集塵監視制御装置及び総合監視盤				○	○	盤表示のみ、PC接続不要
2 機械室備用センサー・同配線・接続						なし
3 同上用配管						なし
4 機械室備用監視盤						なし
5 扉・枠のセンサー取付用BOX・配管						なし
6 空調自動制御盤の供給取付				○		集中リモコンと読替え
7 同上自動制御盤までの1次側電気配管・配線・接続				○		
8 空調自動制御盤から各空調機までの配管・配線・接続						
9 同上並から電気工事設置の動力制御盤までの制御配管・配線・接続				○		
10 電動機・同据付				○		
11 機器付属制御盤・二次側制御配管・配線				○		
12 各種機器の接地工事（冷凍機・ボイラ・パッケージポンプユニットも含む）				○		
13 ボイラ・パッケージなどの遠隔操作・故障・警報用リレー端子の取付				○		
14 同上より監視盤までの制御配管配線				○		
15 電話交換機（一式）				○		
16 電話機（取付け含む）				○		含 鉄道事務所移設工事
17 電話用配管及び接地				○		
18 同上用配線及び入線				○		
19 同上用端子				○		
20 インターホン						なし
10. 防災消火設備など						
1 消火栓ボックス（ホース・ノズルとも）						既存利用
2 同上起動用押ボタン・表示灯・発信機・ベル・電話						既存利用
3 消火ポンプ制御盤（起動リレーとも）						既存利用
4 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続						既存利用
5 同上制御盤以降2次側電気配管・配線・接続						既存利用
6 ガス漏れ検知器・受信機						なし
7 同上電気配管・配線・接続						なし
8 消火器ボックス						新規なし
9 救助袋・収納箱（避難器具設備類）						なし

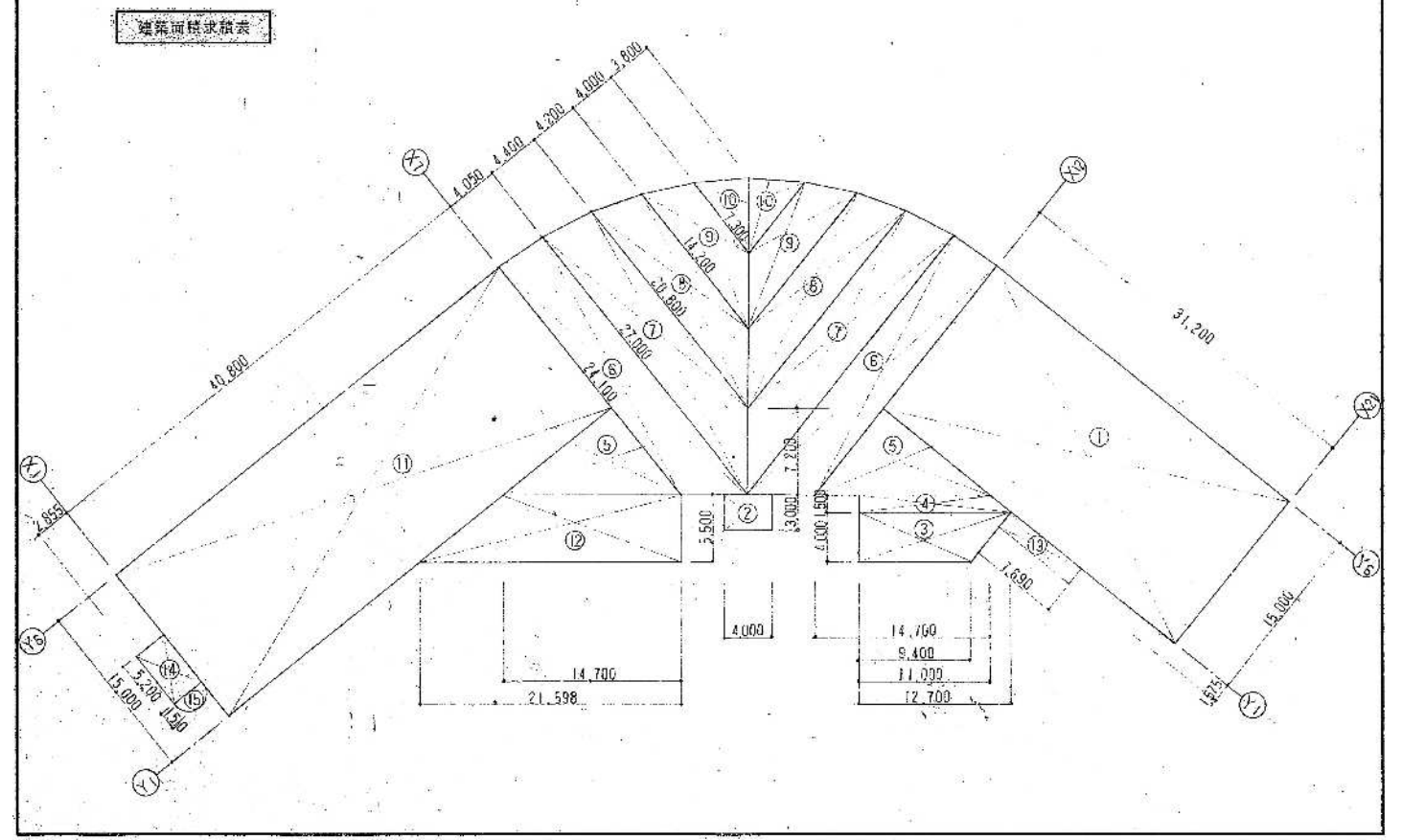
工事項目	建築	昇降機	電気設備	機械設備	別	備考
11. 排煙設備						
1 自然排煙口及び手動開放装置	○					電動式の場合、制御盤共
2 同上遠隔操作装置及び制御盤供給取付	○					
3 自然排煙口から手動開放装置までの電気配管・配線・接続	○					
4 機械排煙口及び手動作動装置				○		既存利用
12. 防火戸など						
1 防火戸・防火シャッター・防火防煙シャッター	○					
可動式防煙遮断壁・建具・付属金物・自動閉鎖（開放）	○					
装置・作動確認スイッチ・操作スイッチ・連動制御盤	○					
2 感知器及び上記機器と受信機までの配管・配線・接続			○			
3 防火・防煙シャッター・常閉防火戸のレリーズ	○	○				防火扉のレリーズは電気工事
4 同上電気配管・配線・接続			○			
5 防火区画・排煙区画の貫通部処理	○	○	○			
13. 扉・自動扉・シャッター（防火シャッター・防火防煙シャッター含む）						
1 駆動装置・感知装置・制御盤・電源スイッチ			○	○		資料館以外は電源メーターを所定に合わせる
2 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続			○	○		既存利用
3 同上制御盤以降2次側配管・配線・接続			○	○		既存利用
4 シャッター・制御盤及び操作ボタン			○			既存利用
5 同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続			○	○		既存利用
6 同上制御盤以降2次側電気配管・配線・接続			○	○		既存利用
14. 昇降機設備						
1 ビット床・乗り場ボタンはつり・補修						既存利用
2 エレベーター出入口三方枠・最上層リッター入れ・はつり						既存利用
3 エレベーター出入口三方枠・扉上扉扉新設						既存利用
4 三方枠廻りトロリ詰め						既存利用
5 三方枠廻り・壁・床の左官・補修						既存利用
6 資材搬入口の仮設並びに仮設工事						既存利用
7 機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上げ工事						既存利用
8 インターホン配線・火報配線工事						既存利用
9 乗場出入口の遮断戸						既存利用
10 放送（一般・非常）用配管配線 引込み位置・昇降路						既存利用
11 火災警報用接点の支給 引込み位置・昇降路						既存利用
12 かご内カメラ用配線配管（制御盤からモニター設置場所まで） 引込み位置・制御盤						既存利用
13. 鋼土質料部圧エレベーターの改修						
				○		建築基準法適合工事
15. 遮音・吸音・断熱工事						
1 躯体関係の遮音（防音）・防振工事	○					
2 空調ダクトの遮音（防音）・防振工事				○		
3 設備機器類の遮音（防音）・防振工事				○	○	
4 各種設備貫通部の遮音（防音）・防振工事				○	○	
5 躯体関係の吸音工事	○					
6 躯体関係の断熱工事	○					
7 各種設備貫通部の断熱補修	○			○		
16. 排水設備						
1 ルーフドレン	○					改修用ルーフドレンとする
2 堅固配管及び第一会所樹接続までの配管工事	○					露出堅固は塗装やり替え
3 外構用排水工事（第一会所樹以降）				○		改修部のみ
4 雨水貯留槽						廃止する
5 同上への配管接続及びポンプ・配線設置				○		既存撤去
6 グリーストラップ（既製品）						なし
7 屋内・屋外汚水・雑排水工事				○		改修部のみ
8 敷地内汚水・雑排水工事（汚水・雑排水樹を含む）				○		改修部のみ
9 敷地外本管への接続						なし
10 敷地外公設併設（蓋・接続共）						なし
11 敷地外雨水樹・L型側溝併設（蓋・接続共）						なし

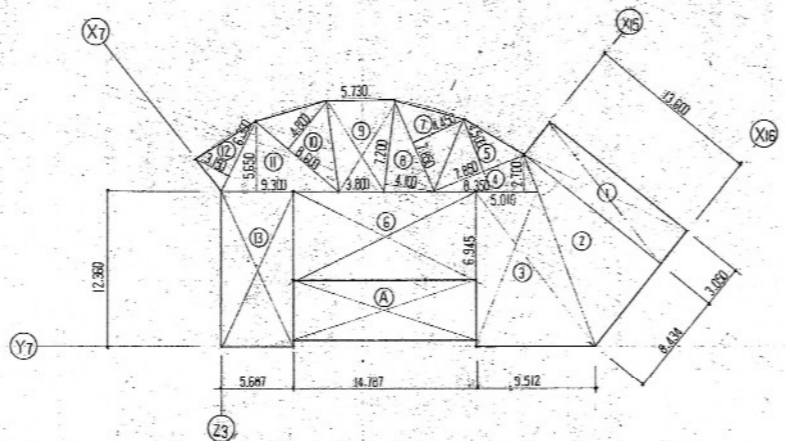
工事項目	建築	昇降機	電気設備	機械設備	別	備考
17. その他						
1 避難設備・同接地工事						既存避難設備のまま
2 屋内サイン・屋外サイン・外部看板等	○					下地補強含む
3 ブラインド・カーテン・遮幕・ロールスクリーン	○					
4 ブラインドボックス・カーテンボックス・レール						既存利用
5 可動・移動間仕切り	○					移動間仕切り既存利用
6 電気錠器具加工及び制御盤の取付用下地加工工事						なし
7 電気錠制御盤・ホドリーダ（ホド）、2行付属金物一式						なし
8 電気錠・制御盤までの電源供給用及び制御用配管・配線工事						

■敷地概要		■建築概要		
工事名称	(仮称) かすかべひがし交流センター整備工事	建物用途	1階 : 博物館その他これらに類するもの(用途変更) その他: 教育センター(前願のまま)	
建築主	春日部市長 岩谷 一弘	工事種別	改修工事	
建設地 地名・地番	埼玉県春日部市粕壁東三丁目1798-3、1868-3、1919-7、1868-4の一部	工期	2026年令和8年10月初旬~2028年令和10年3月末	
建設地 住居表示	春日部市粕壁東三丁目2番15号	建築面積(建ぺい率)	2068.200㎡ (47.22%<60%)	
地区指定	指定なし	容積対象床面積(容積率)	5,249.723㎡ (119.87%<200%)	
地域地区	第二種住居地域	延床面積	5,249.723㎡ (駐車場ピロティ=258.750㎡含む)	
日影規制	2.5h/4.0h(4m)	階数	地上4階 地下1階	
斜線制限	道路斜線制限	斜線勾配1.25、適用距離20m	最高高さ	21.95m
	隣地斜線制限	斜線勾配1.25、立上げ高さ20m	最高の軒の高さ	19.35m
	北側斜線制限	なし	消防法用途	全体:(16)項イ 複合用途防火対象物
敷地面積	4,379.36㎡ (前願申請値)			
容積率	200%			
建ぺい率	角地適用70% (60%)			
道路幅員	建築基準法42条1項1号	■構造概要(既存建物)		
	東側: 市道 学校通り 幅員16m	構造種別	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	
	西側: 市道 陸橋通り 幅員22m	構造形式	ラーメン構造	
		基礎種別	杭基礎	
駐車台数	一般車: 38台(内車椅子1台) 公用車: 5台			
駐輪台数	22台	■昇降機設備概要		
		乗用エレベーター No.1	乗用、1方向出入口、定格積載量750Kg、定員11名 45m/min、停止階地下1~4階、車いす仕様	
		No.2	乗用、1方向出入口、定格積載量750Kg、定員11名 45m/min、停止階1~4階	
		荷物用エレベーター No.3	荷物専用、1方向出入口、定格積載量1000Kg 30m/min、停止階地下1~1階、油圧式単式自動方式	
耐震安全性	構造体: 一類 重要度係数: 1.0 建築非構造部材: 一類 建築設備: 一類			

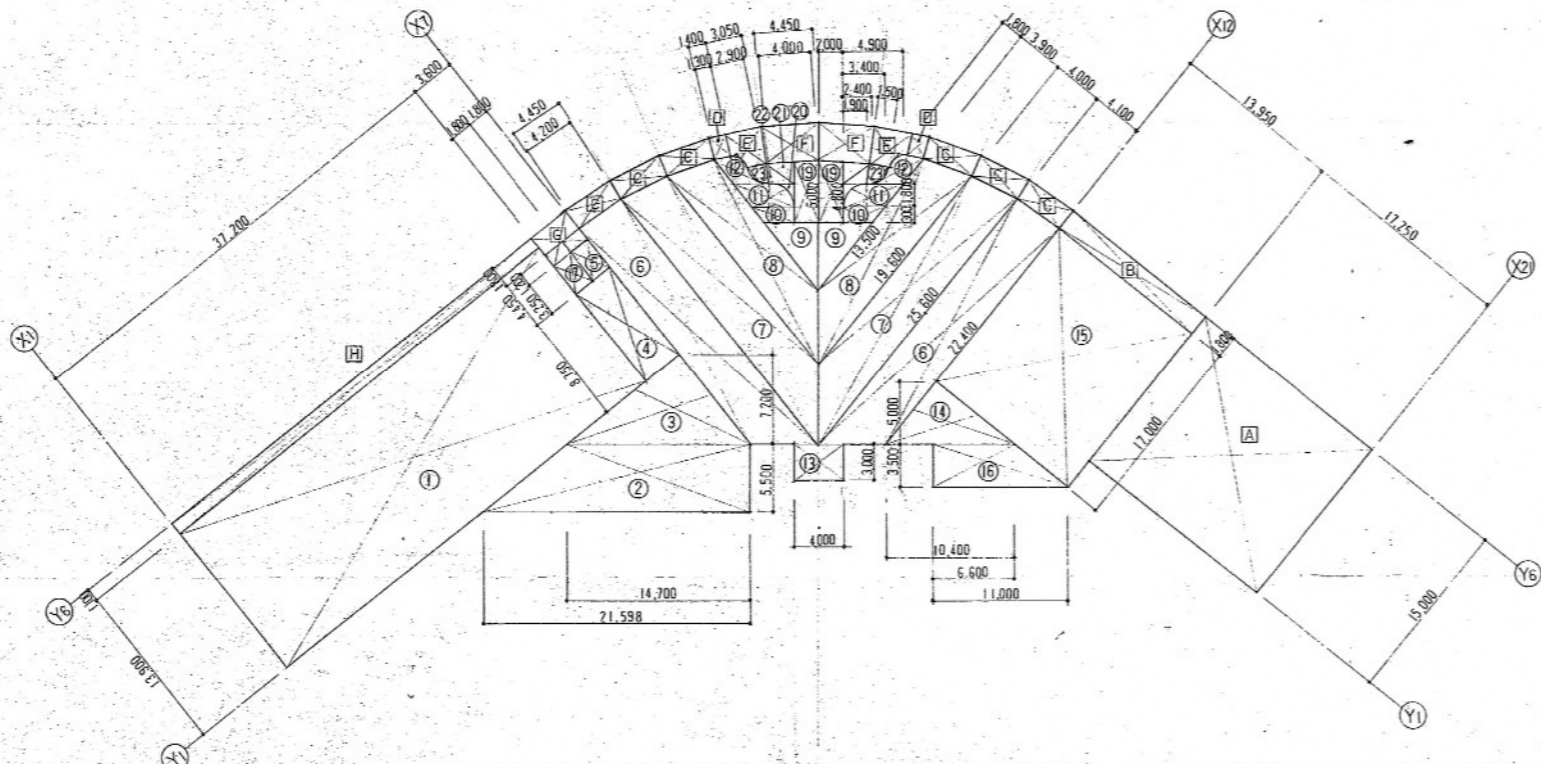


	容積対象床面積	容積対象外床面積			合計	備考
		屋外階段	ピロティ	合計		
PH1F	52,970	—	—	—	52,970	① 31.20 × 15.00 = 468,000 ② 3.0 × 4.0 = 12,000 ③ (9.40 + 12.70) × 4.0 × 0.5 = 44,200 ④ (11.0 + 12.70) × 1.5 × 0.5 = 17,775 ⑤ 14.70 × 7.20 × 0.5 × 2 = 105,840 ⑥ (24.10 + 27.0) × 4.05 × 0.5 × 2 = 206,955 ⑦ (20.80 + 27.0) × 4.4 × 0.5 × 2 = 210,320 ⑧ (14.70 + 20.8) × 4.2 × 0.5 × 2 = 147,000 ⑨ (7.30 + 14.2) × 4.0 × 0.5 × 2 = 86,000 ⑩ 7.30 × 3.80 × 0.5 × 2 = 27,740 ⑪ 40.80 × 15.00 = 612,000 ⑫ (14.70 + 21.598) × 5.5 × 0.5 = 99,810 ⑬ 7.69 × 1.575 = 12,111 ⑭ 5.20 × 2.855 = 14,845 ⑮ 1.515 × 1.515 × 3.14 × 0.5 = 3,663 建築面積 合計 2068,200
4 F	527,923	17,018	—	17,018	544,941	
3 F	948,615	19,742	76,320	96,062	1,044,677	
2 F	1,370,849	32,807	76,320	109,127	1,479,976	
1 F	1,576,752	—	460,221	460,221	2,036,973	
地下1F	513,864	—	74,156	74,156	588,020	
合計	4,990,973	69,567	697,017	766,584	5,757,567	
	1,509,769	27,049	207,822	234,871	1,744,640	

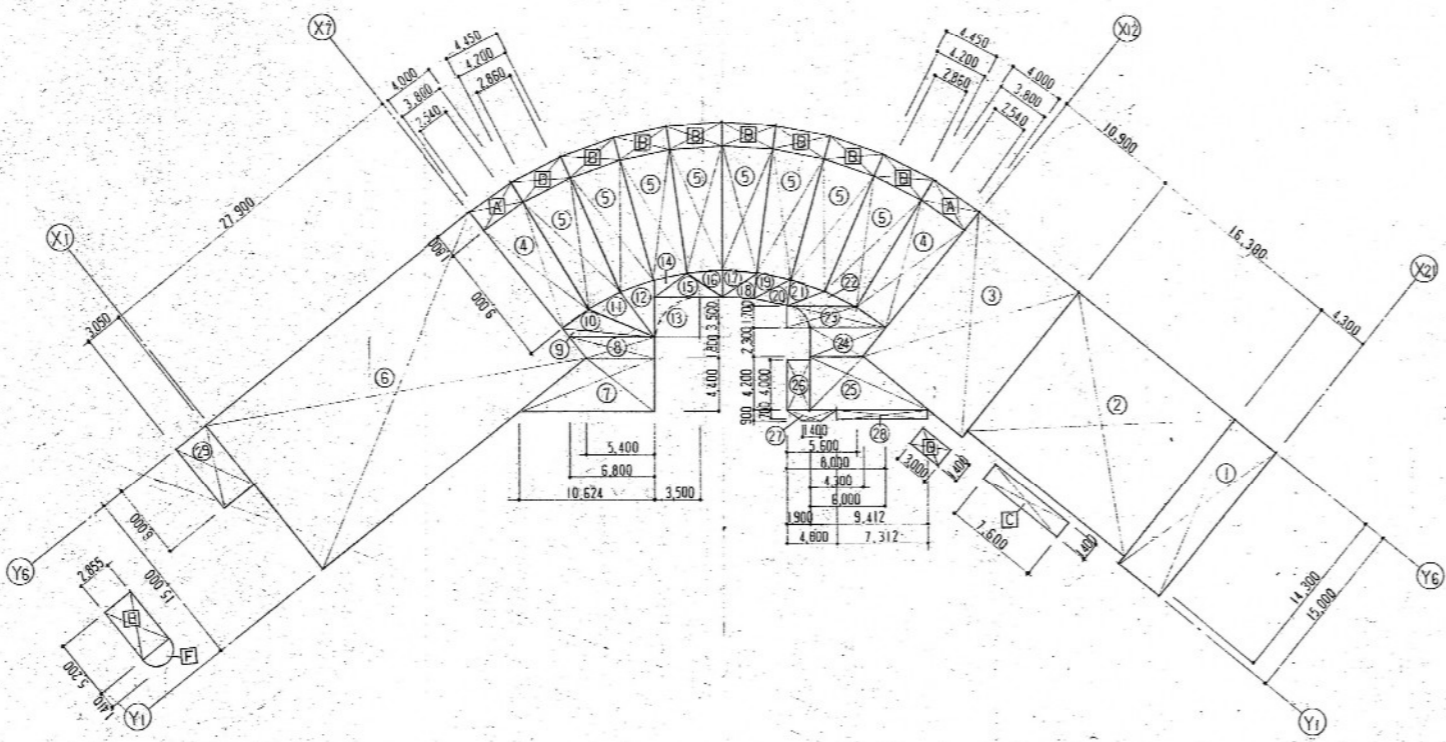




B1F			
	M <sup>2</sup>		
○			
①	13.6 x 3.05	41.480	⑩ 8.6 x 4.8 x 0.5
②	6.434 x 13.6 x 0.5	57.351	⑪ 9.3 x 5.65 x 0.5
③	[9.512 + 5.01] x 12.36 x 0.5	89.745	⑫ 6.3 x 3.15 x 0.5
④	8.35 x 2.700 x 0.5	11.272	⑬ 5.687 x 12.360
⑤	7.85 x 4.500 x 0.5	17.662	TOTAL
⑥	14.787 x 6.945	102.695	□
⑦	7.85 x 4.450 x 0.5	17.466	
⑧	7.2 x 4.1 x 0.5	14.760	A
⑨	(5.73 + 3.8) x 7.2 x 0.5	34.308	
			TOTAL
			513.864 M <sup>2</sup>
			74.156
			74.156



1F			
	M <sup>2</sup>	TOTAL	
○			
①	37.2 x 13.9	517.080	□
②	[(14.7 + 21.598) x 5.5 x 0.5	99.820	A
③	14.7 x 7.2 x 0.5	52.920	D
④	3.6 x 8.75	31.500	C
⑤	1.8 x 3.25	5.850	D
⑥	[22.4 + 25.6] x 4.1 x 0.5 x 2	196.800	E
⑦	[19.6 + 25.6] x 4.0 x 0.5 x 2	180.800	F
⑧	[13.5 + 19.6] x 3.9 x 0.5 x 2	129.090	G
⑨	7.0 x 3.4 x 0.5 x 2	23.800	H
⑩	[2.4 + 3.4] x 1.3 x 0.5 x 2	7.540	19
⑪	[3.4 + 4.9] x 1.8 x 0.5 x 2 - [1.8 x 1.8 x 3.14 x 0.5]	9.853	20
⑫	[2.5 + 3.0] x 1.8 x 0.5 x 2	9.900	21
⑬	4.0 x 3.0	12.000	22
⑭	10.4 x 5.0 x 0.5	26.000	23
⑮	13.95 x 17.0	237.150	
⑯	[6.6 + 11.0] x 3.5 x 0.5	30.800	
⑰	1.8 x 3.25	5.850	
			TOTAL
			1576.753
			M <sup>2</sup>
			258.750
			25.110
			46.710
			4.860
			15.589
			25.350
			10.800
			40.920
			19.600
			1.720
			3.920
			3.360
			3.532
			TOTAL
			460.221



2F			
	M <sup>2</sup>		
○			
①	4.3 x 15.0	64.500	20
②	16.3 x 14.3	233.090	21
③	10.9 x 15.0	163.500	22
④	[2.54 + 3.8] x 9.0 x 0.5 x 2	57.060	23
⑤	[2.86 + 4.2] x 9.0 x 0.5 x 8	254.160	24
⑥	27.9 x 15.0	418.500	25
⑦	[5.4 + 10.624] x 4.4 x 0.5	35.252	26
⑧	[5.4 + 6.8] x 1.8 x 0.5	10.980	27
⑨	7.4 x 0.6 x 0.5	2.220	28
⑩	7.4 x 1.7 x 0.5	6.290	29
⑪	5.8 x 2.2 x 0.5	6.380	
⑫	4.6 x 2.7 x 0.5	6.210	
⑬	3.5 x 3.5 - [3.5 x 3.5 x 3.14 x 0.25]	2.633	
⑭	3.2 x 1.1 x 0.5	1.760	
⑮	5.5 x 1.9 x 0.5	5.225	
⑯	3.4 x 1.8 x 0.5	3.060	
⑰	3.4 x 1.7 x 0.5	2.890	
⑱	3.3 x 1.5 x 0.5	2.475	
⑲	3.2 x 1.7 x 0.5	2.720	
			TOTAL
			1,370.849
			M <sup>2</sup>
			14.040
			62.280
			4.200
			10.640
			14.846
			3.121
			TOTAL
			109.127

